

第4章

フッ化物洗口を実施する際に 必要となる様式例

1. フッ化物洗口申込書（様式1）	25
2. 指示書（歯科医師→学校長）（様式2）	26
3. 指示書（歯科医師→薬剤師）（様式3）	27
4. フッ化物洗口剤管理簿（様式4）	28
5. フッ化物洗口実施状況調書（様式5）	29
6. フッ化物洗口実施手順確認書（様式6）	30
7. フッ化物洗口実施手順（様式7）	31

フッ化物洗口申込書

_____ 学校長様

※どちらかを○で囲んでください。

1. フッ化物洗口を希望します。
2. フッ化物洗口を希望しません。

年 月 日

() 年 () 組

児 童 氏 名 _____

保護者氏名 _____

指 示 書

年 月 日発行

学校名

(年 月～ 年 月分)

学 校 長 様

フッ化物洗口液として

水〇〇 ml に、フッ化物洗口剤〇〇 g を溶かして、0.2% のフッ化ナトリウム

(フッ化物イオン濃度 900 ppm)

水溶液を作成し、週 1 回、児童 1 人につき、10ml のフッ化物洗口液を用いて

1 分間洗口させること。

※フッ化物洗口後 30 分間は、うがいや飲食を避けること。

担当歯科医師

住 所

氏 名

(様式 3)

指 示 書

年 月 日発行

学校名

(年 月～ 年 月分)

○ ○ 薬 剤 師 様

○○学校では、週1回法でフッ化物洗口を行うので、フッ化物洗口液として、水○○ ml
にフッ化物洗口剤○○ g を溶かして 0.2% のフッ化ナトリウム水溶液（フッ化物イオン
濃度 900ppm）を作成し、週1回、○○学校に渡してください。

担当歯科医師

住 所

氏 名

添付書類

担当歯科医師から 学校長宛の指示書の写し

(様式 4)

フッ化物洗口剤管理簿

学校名 ()

年度

[illegible]

※学校で管理するための参考様式です。

(様式 5)

フッ化物洗口実施状況調書

年 月分

学校名

年月日

年

月

日

学年		1	2	3	4	5	6	計
対 象	学級数							
	人 数							
未実施人数								
実施時間		曜日 : ~ :						
実施回数		回						
実施月日		月 日 ()		月 日 ()		月 日 ()		
		月 日 ()		月 日 ()		月 日 ()		
問 題 点								
備 考								

※学校で管理するための参考様式です。

フッ化物洗口実施手順確認書

以下の点をチェックして実施してください。

実 施 項 目		チ ェ ッ ク 項 目	チェック
1 器具を そろえる	使用する器具が そろっているか 確認します	① ポリタンク ※洗口液(ポーシェン・ボトル)タイプの洗口剤を使用する場合は、準備不要です	
		② ディスペンサー付ボトル 「フッ化物洗口用」と明記されていること ※洗口液(ポーシェン・ボトル)タイプの洗口剤を使用する場合は、準備不要です	
		③ コップ (紙コップまたはプラスチックコップ)	
		④ 砂時計 (1 分計、1 分きちんと計れるものであれば砂時計でなくてもいいです)	
		⑤ フッ化物洗口剤	
		⑥ 収納器具 (水切りかご等)	
		⑦ 消毒薬 (次亜塩素酸ナトリウム等)	
2 洗口開始前 の確認	洗口を実施する 前に整備してお いてください	① 保護者の同意がとれている	
		② 歯科医師からの指示書がある	
		③ 洗口剤は鍵のかかるところに管理されている	
		④ 洗口剤の管理簿が整備されている	
3 洗口前の 準備	洗口液を作ります	ディスペンサー付ボトルに () mlの水を入れ、 フッ化物洗口剤を () 包 () g 入れ、よく振って 溶かす。 ※使用量が多いときは、ポリタンク等の大きな容器で一度に作成 し、そこから必要な量をディスペンサー付ボトルに移します。	
4 洗口の実施	洗口を実施します	① 1 回分の洗口液 (10ml) を、1 人 1 人のコップに分注 する。	
		② 全員にコップがわたったら、全員同時に洗口液を口に 含み、すべての歯にゆきわたるようブクブクうがいを 1 分間続ける。	
		③ 1 分間が過ぎたら洗口をやめ、各人のコップに吐き出す。	
		④ 洗口後 30 分はうがいをしたり、飲食物をとらないよう に気をつける。	
	器具を消毒します	⑤ 紙コップと洗口液を含んだティッシュをゴミ袋で回収 する。プラスチックコップを使用する場合は、ティッ シュを回収し、プラスチックコップは洗浄して水切り かごに入れる。 プラスチックコップ・ディスペンサー付ボトルは、毎回消毒する。 ① 水でよく洗浄する。 ② 約 0.02%の次亜塩素酸ナトリウム薬液に 5 分以上浸し た後、よく水洗いする。 ③ 水を切り、よく乾燥する。	
5 洗口剤管理	洗口剤の保管管理 をします	洗口剤の使用量と残量を洗口剤管理簿に記入し、残りの 洗口剤は施錠された場所に保管する。	

フッ化物洗口実施手順

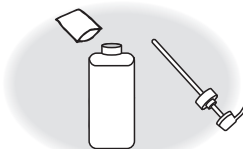
1. 洗口剤の使用量と残量を洗口剤管理簿につけ、残りの洗口剤を施錠された場所に保管する。



2. ディスペンサー付ボトルに（ ） mlの水を入れる。



3. ボトルにフッ化物洗口剤を（ ）包（ ） g 入れ、よく振って溶かす。



4. 1 回分の洗口液 (10ml) を、1 人 1 人のコップに分注する。



5. 全員に洗口液が入ったコップとティッシュが渡ったら、全員同時に洗口液を口に含み、すべての歯にゆきわたるように、ブクブクうがいを1分間続ける。



6. 1 分間が過ぎたら洗口をやめ、コップの底にティッシュを入れてから、静かに洗口液を吐き出す。
※洗口後 30 分はうがいをしたり、飲食物をとらないように気をつける。



7. 紙コップとティッシュをゴミ袋で回収する。
プラスチックコップを使用する場合はティッシュのみをゴミ袋で回収し、プラスチックコップは洗浄して水切りカゴで回収する。



★ディスペンサー付ボトルは毎回消毒する。 ※詳細はマニュアルのP14をご参照ください

- ①水でよく洗浄する。
- ②約0.02%の次亜塩素酸ナトリウム薬液に5分以上浸して消毒する。
- ③水でよく洗浄する。
- ④ディスペンサー内の薬液を抜くため、水を入れたボトルにディスペンサーをセットし、数回プッシュする。
- ⑤ディスペンサー内の水を抜くため、空ボトルにディスペンサーをセットし、数回プッシュする。
- ⑥水を切り、よく乾燥する。

※次亜塩素酸ナトリウムは金属を腐食させる恐れがありますので、長時間の浸漬を避け、しっかりと水洗いし、乾燥させてください。